



目 次

< 新入生特集 >

図書館に通う・図書館で考える・図書館を制覇する（田中 一郎）	2
中央図書館フロアマップ	4
各館を紹介します	6
医学部分館	6
医学部保健学科図書室	6
自然科学系図書館	7
本学教員著作等寄贈図書リスト（2006年11月～2006年12月）	8
図書館のトピックス	8
としょかん日誌（2006年11月～2007年1月）	8



桜 霞（中央図書館南築堤）

図書館に通う・図書館で考える・図書館を制覇する

附属図書館副館長 田 中 一 郎

新入生の皆さん，入学おめでとうございます。
これからは金沢大学附属図書館の二百万冊近くの蔵書を活用して，充実した大学生活を送っていただきたいと心から願っています。大学では，小・中・高等学校のような文部科学省の指導要領に従った，どの学校でもほとんど同じことを教える教育が行われる訳ではありません。たとえば共通教育で西洋史という科目があったとしても，古代ギリシアから20世紀のヨーロッパまでを教えてくれることはないでしょう。物理学や化学であっても，それらの初歩からたとえば量子力学まで教えてくれることはないかもしれません。半年間，15回という時間の中で何かを深く教えようとすれば，範囲を限らなければならぬからです。もっと深く知りたい，もっと深く勉強したい，あるいは初歩のところから勉強したいと思ったとき，附属図書館は皆さんの希望をかなえる場所となるでしょう。附属図書館では，研究のための本だけではなく，授業内容に関連した勉学のための本もまた絶えず充実され続けているからです。

もっとも，大学で講義されている内容は，知識として考えるならほとんどがインターネットで検索できる時代になってしまいました。ちょっとした調べものなら，何巻もの百科事典を引くよりははるかに短時間で答えがわかっています。重い辞書を持ち運ぶよりは電子辞書でもっと手早くすべての単語の意味がわかるようになったのも確かなことです。

残念なことに，インターネットでの検索は，キーワードが前もってわからなければ無力だということは忘れられがちです。不適切なキーワードを入力したために期待したものが見つから

なかったり，あまりにも多くのものが見つかってしまい結局は役に立たなかったりする経験は誰でもしたでしょう。インターネットでの検索は，よく行っても，調べたいと思っていたものだけが，キーワードを入力した人物の知識レベルに応じて見つかるということもできるかもしれません。

図書館では予想もしていなかった本と出会い，インターネットで検索しようにもキーワードすら思いつかなかった情報と出会えるかもしれないのです。そういう意味では，図書館は調べものをする場所であると同時に，発見する場所でもあるのかもしれません。

14世紀イギリスの宮廷人，リチャード・ド・ベリーという人物が書いた『フィロビブロン(書物への愛)』(邦訳は，古田暁訳，大阪フォルム画廊出版部，1972年)という本には「知恵の宝はおもに書物のうちに収められている」という章があって，書物は「質疑に対して身を隠し，こちらのまちがいに声をあげず，無知を笑わない」と語られていて，書物こそが勇気をふるって門をたたく者に深遠な知恵を与えてくれると述べられています。

何か目的があって図書館に行くというだけでなく，目的がないから，極端な言い方をすると，することがないから図書館に行くということでも十分だと思えます。束の間，他人の考えていることに触れてみる，他人の人生を生きてみる，それだけでもロールプレイング・ゲームであらかじめ仕組まれていた結末に辿り着くという怪しげな，本物らしからぬ他人の人生を疑似体験することが与えてくれる喜び以上のものがあると言えきでしょう。図書館で初めて出会っ

た本，初めて出会った図書館職員，すべてが大学生活，そして人生を豊かにしてくれるはずで
す。

もちろん利用できるのは金沢大学附属図書館の蔵書だけというわけではありません。大学の図書館を通じて地域の図書館を，そして世界中の図書館を利用することが可能です。この場合には，インターネットを通じて世界各地の図書館の蔵書目録にアクセスしてみるだけでも面白いでしょう。図書館にはそれぞれの特徴があって，収集している本の分野も違い，目録の作り方も違っていたりします。イタリアだけでも，フィレンツェの国立図書館は論文集の中に収められている論文まで図書カードを作っています。日本では，一冊の本であれば，その書名と編者名だけで，本の中身である複数の著者による論文まで記録することはありませんから，発見の機会はそれだけ多いわけです。同じフィレンツェにある科学史研究所の図書館は，他の図書館にある貴重な書物のコピーを数多く収集していることで特徴を出しています。日本の図書館であれば，コピーを熱心に集めるということなど考えられないかもしれませんが，そこに行きさえすれば科学の発展に貢献した本と論文が読めるという点では利用価値の大きい図書館です。しかも，国立図書館で職員に監視されながら貴重本を読むという苦痛から解放されるわけです。この研究所の自慢は別にもあって，附属の博物館にガリレオ・ガリレイが手ずから作った望遠鏡と，何と彼の右手の中指が展示されています。この研究所にとってガリレオは聖人であり，中指の骨は聖遺物ということなのでしょう。あのヴァチカン図書館は，中世ヨーロッパの貴重本のほぼすべてを持っているということで特筆されるべきですが，もうひとつの特徴も忘れられるべきではないでしょう。それは，世界各国の主だった図書館の蔵書目録が集められているということです。もっとも，日本については上智大学附属図書館とか南山大学附属図書館の蔵書目録というようにカトリック系の図書館に限られてはいますが。一つの部屋のすべての棚に収められた目録の中には，イスタンブール最大の

アヤソフィア・モスクのものもあって，この中にある本はコピー依頼できるのかと訊ねたところ，即座に帰ってきた答えは「使えない目録は置いていない」でした。こうした世界の図書館を訪ねる出発点として大学附属図書館を利用することも可能でしょう。つまり，附属図書館の窓は世界中に開かれており，世界中の本が読まれるのを待っているのだと考えることができます。

あらゆる図書館はあらゆる者に開かれているべきであり，あらゆる本は読まれるためにあるのですから，図書館職員を煩わして本を捜し求めるのは遠慮すべきことではないのです。リチャード・ド・ベリーも言っているように，「書物収集は学徒の公益を目的とし，自己満足のためではない」のですから。彼は当時としては最大級の蔵書家であったことで知られていますが，その蔵書数は千五百冊ほどであったらうと見積もられています。金沢大学だけでもその千倍以上の本が皆さんに利用されるのを待っているわけです。

ただし，この『フィロビブロン』の著者は，学徒たちが「書物を開いたまま果物やチーズを食べ，注意を払わずコップを口に」運んだり，「腕を組み書物の上に寄りかかり，短時間勉強したかと思うのも束の間，次に長時間のうたた寝に移る」ために，本が台無しになってしまうと嘆いていることもお忘れなく。

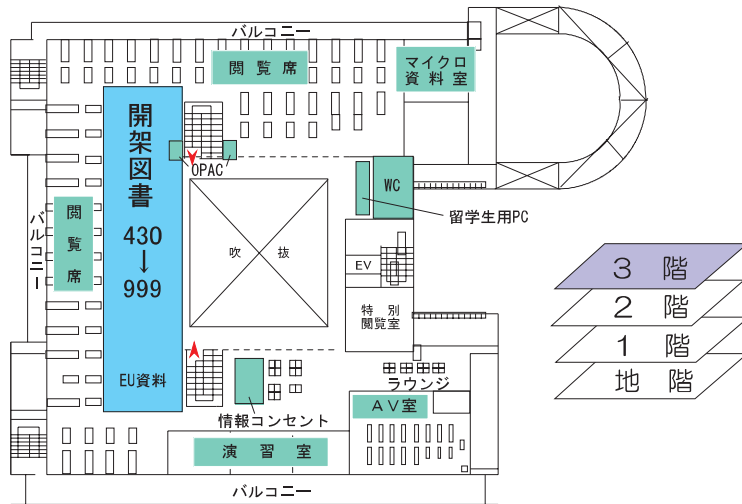


田中 一郎

TANAKA Ichiro
2006年4月1日から
附属図書館副館長。
大学院自然科学研究
科教授。

中央図書館フロアマップ

■ 3 階

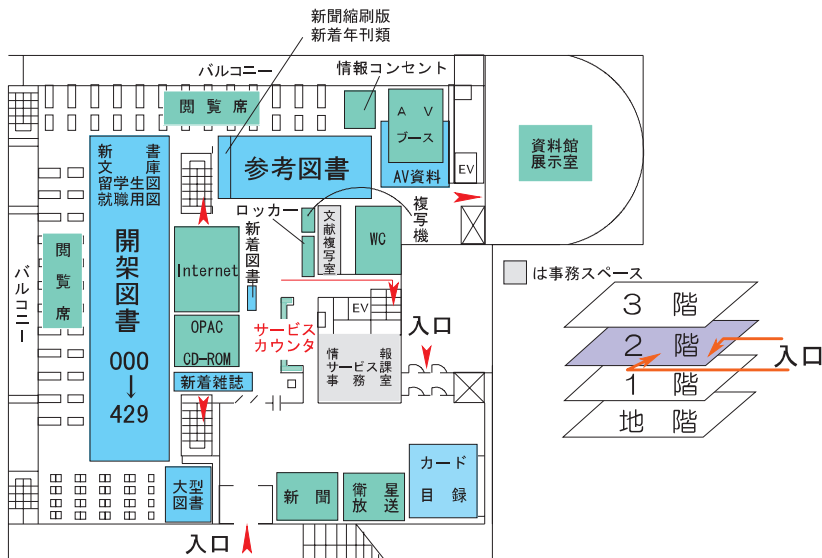


開架図書，EU 資料を配置しています。

施設

AV室
演習室
マイクロ資料室
特別閲覧室

■ 2 階

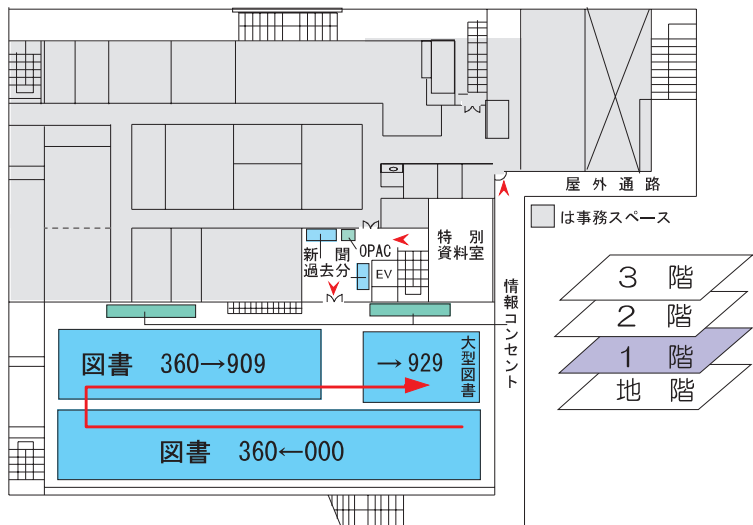


開架図書，参考図書，新着雑誌，新聞縮刷版(過去5年)，ビデオ・CD・DVD等の資料を配置しています。

資料の貸出／返却をはじめとする利用手続き，利用相談はサービスカウンターで受け付けています。

施設

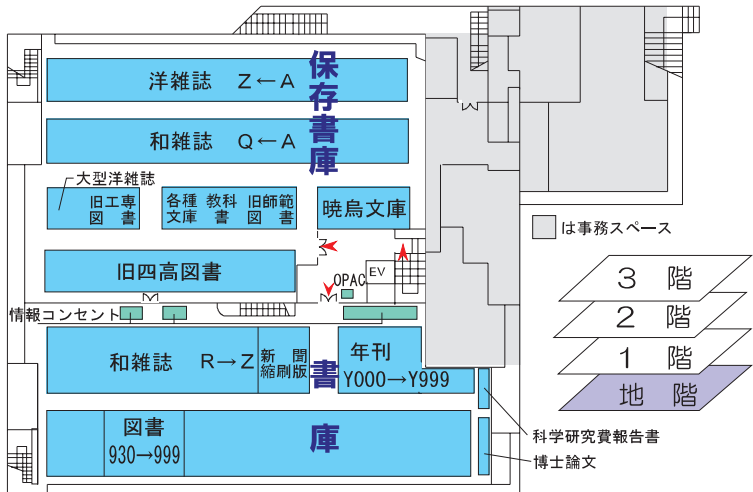
蔵書／インターネット／
CD-ROM検索コーナー
AVブース
衛星放送受信コーナー



1 階

和図書，洋書，新聞（過去3カ月分）を配置しています。
特別資料室，事務室があります。

2階サービスカウンターで入庫票を受け取りカウンター横の通路からお入りください。



地階

雑誌，新聞縮刷版，前身校（四高，師範，工専など）蔵書のほか暁烏文庫などの各文庫，その他各種コレクションを配置しています。

年刊資料，科学研究費成果報告書，博士論文もこちらです。

各館を紹介します

医学部分館



図書館棟

宝町キャンパスにある医学部分館は、医学系資料を集中的に収集・提供する図書館です。

1階にある開架図書コーナーには、各講座からの推薦図書など、専門医学書が並べられています。置いていない本も購入リクエストを受け付けていますので、依頼してみてください。

2階の雑誌コーナーには、医学系の学術雑誌

が並び、最新の学術情報に触れることができます。一年以上前の雑誌は書庫に保存され利用されています。

医学系の研究では特に雑誌が多く利用されます。医学部分館では、学術雑誌に掲載された論文を探す検索データベースの提供や、必要な文献を他大学等から取り寄せるサービスも行っています。

また、AV資料視聴用ブースやインターネット用コンピュータの設置など、設備面でも皆様の学習環境をサポートしています。

どんどん利用して学生生活を充実させてください。ご来館お待ちしております。



2階 閲覧席

医学部保健学科図書室



開架資料

保健学科図書室は、宝町キャンパスの保健学科3号館1階にあります。

平成17年度末現在、蔵書約3.5万冊、雑誌882タイトルを所蔵しており、すべて1フロアの図書室に配架されています。閲覧席は48席、書架は、開架書架（図書と雑誌）・集密書架（雑誌のバックナンバー）があり、図書はNDC分類順・雑誌はABC順に並んでいます。規模は小さいですが、まだ建物も新しく、図書室北側が全面窓になっているので、明るくキレイな図書室です。

蔵書は看護・医療科学・リハビリ科学などの専門書が中心です。保健学科の専門課程の学生さん達が、毎日図書の閲覧・貸出や雑誌論文の複写に訪れています。資料を探す時は、図書室内のパソコンで、蔵書検索（OPAC）したり、『医学中央雑誌』等のデータベースを検索して論文情報を入手することができます。（プリンターもありますが、用紙は持参してくださいね！）その他、中央図書館と同じ自動貸出装置、予約制のグループ学習室、資料を複写できるコピー機、ビデオ教材を視聴できるAVコーナーなどがあります。

保健学科の学生さんの利用が多いですが、他学部の人でももちろん利用できます。OPACで検索して探している図書が保健学科にあった場合は、ぜひ保健学科図書室まで足を運んでみてくださいね！



閲覧席

自然科学系図書館



図書館遠景

自然科学系図書館は、角間南キャンパスにある開館して今年で3年目を迎える図書館です。

どこにありますか？

角間南キャンパス・自然科学系図書館棟の1階に入り口があります。

自然科学本館のG2階にある正面玄関から入り、右手にあるエレベータまたは階段で1階まで上がって、お越しください。

入館には、学生証または図書館利用券が必要となります。忘れずにお持ちください。

どんな本がありますか？

自然科学系図書館は主に理学・薬学・工学分野の学生や研究者の方たちを対象とした図書館です。そのため、理学・薬学・工学を中心とした自然科学系分野の専門資料を収集、保存しています。

雑誌は1階に、図書は2階に配架されています。雑誌は最近10年分のものだけが書架に並んでいて、それ以前の雑誌と一部の図書は自動化書庫に入庫されています。ただし、よく利用される雑誌は10年以上前のものでも書架にある場合がありますので、一度OPACで検索してみてください。

そのほか、理学・薬学・工学部の学生向けの就職支援図書もあります。



1階 閲覧席

書庫の本を 取り出したいのですが...

自然科学系図書館の書庫は『自動化書庫』となっており、人が入れません。

書庫の本を取り出すには、館内にある3台のOPAC専用端末からお探しの資料を検索し、出庫の指令を出していただく必要があります。初めて自動化書庫を利用される方は、サービスカウンターにお尋ねください。

G1階
教材利用コーナー

パソコンでレポートを 作成したいのですが...

自然科学系図書館G1階にある教材利用コーナーをぜひご利用ください。こちらにおいてある24台のパソコンはプリンタとつながっていますので、作成したレポートを印刷することができます。ただし、印刷用の紙はご自分でご用意ください。

また、G1階・1階・2階にあるインターネット検索コーナーのパソコンもレポート作成にご利用いただけます。（こちらのパソコンはプリンタにつながっていませんので、印刷はできません。）

注意：館内にあるパソコンに保存したデータは翌日には消えてしまいますので、データの保存にはUSBメモリをご利用ください

みなさまのご来館をお待ちしています。

ありがとうございました

本学教員著作等寄贈図書リスト

2006/11～12

田崎和江（理学部教授）編

晶子染め作品展

金沢大学理学部地球学科2006. 7

（自然図2F一般 519：K16：8）

とかげのしっぽ

金沢大学理学部地球学科 2005. 3

（図開架 519:K16:6, 自然図2F一般 519:K16:6）

ゆったり湯学与角間の自然

金沢大学理学部地球学科 2006. 3

（自然図2F一般 519:K16:7）

面白く、楽しい片山津・温泉学：そこ（底）が知りたい

温泉の魅力

片山津温泉を支える科学者グループ2004年 - 2005年

2005. 3 （自然図2F一般 453. 9：O56）

田崎和江（理学部教授）編著

私たちは何を学んだか？：ナホトカ号重油流出事故から10年

金沢大学21世紀 COE プログラム 2006. 12

（自然図2F一般 519：N163）

中垣良一（薬学部教授）分担執筆

Magneto-science : magnetic field effects on materials : fundamentals and applications

Kodansha 2006 （自然図2F一般 427.8:M196）

図書館のトピックス 就職支援図書展を開催(1月22日～2月18日)

中央図書館閲覧ホールで学生部就職支援室の後援により就職支援用資料の展示を行いました。

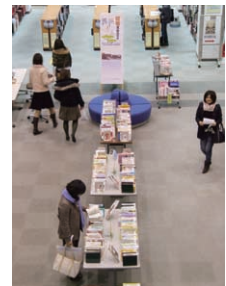
新着図書200冊を含むおよそ900冊の就職対策図書や雑誌を展示したほか、就職支援室から提供があった多数のパンフレットを配布しました。

試験期間中にもかかわらず多くの貸出しがありました。

なお、展示図書は引き続き2階開架就職支援図書コーナーに配架していますのでご利用ください

どんな仕事か
したいですか？

あなたの意欲を
応援します。



展示風景

としょかん日誌(2006年11月～2007年1月)

- 11月8日 第2回東海地区 CSI 事業報告会(名古屋大学附属図書館) 谷口貞治(自然科学系図書館係長), 守本 瞬(医学部分館係長)
- 11月10日 平成18年度石川県大学図書館協議会特別研修会(北陸学院短期大学) 守本 瞬(医学部分館係長), 林裕紀子(コンテンツ第一係), 中 廣美(コンテンツ第一係), 久保靖子(中央図書館係)
- 11月10日 文献情報の検索パスに関する調査・研究打合せ(筑波大学) 川井奏美(自然科学系図書館係)
- 11月16日 平成18年度第3回 ILL システム講習会(国立情報学研究所) 池上佳芳里(相互利用係)
- 11月16日 平成18年度北信越地区国立大学図書館事務部課長会議(ウェルシティ新潟) 由良信道(情報部長), 木下 聡(情報企画課長) 11/16のみ
- 11月16日 共同ワークショップ「日本の機関リポジトリの今2006」～17日(千葉大学) 木下 聡(情報企画課長) 11/17のみ, 内島秀樹(情報企画課副課長), 橋 洋平(情報企画係

- 長), 伊藤美和(コンテンツ第一係), 川井奏美(自然科学系図書館係)
- 11月20日 図書館展に出展及び発表講演(パシフィコ横浜) 内島秀樹(情報企画課副課長)
- 11月21日 平成18年度石川県図書館大会(かほく市立河北台中学校・同七塚生涯学習センター) 村田勝俊(中央図書館係長)
- 12月11日 平成18年度第5回「学術コンテンツ運営・連携本部機関リポジトリ作業部会」会議(国立情報学研究所) 木下 聡(情報企画課長)
- 12月13日 平成18年度図書館等職員著作権実務講習会(オリンピックセンター) 橋 美穂(相互利用係長)
- 12月19日 領域2の進捗状況についての事務打合せ(学術総合セミナー) 木下 聡(情報企画課長), 国際シンポジウム参加(都市センターホテル) 内島秀樹(情報企画課副課長)

金沢大学附属図書館報「こだま」第162号

発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会

〒920 - 1192 金沢市角間町 電話 076 264 - 5200

ホームページURL <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

電子メールアドレス etsuran@ad.kanazawa-u.ac.jp

読者の皆様からのおたよりをお待ちしております。

2007年4月1日発行

印刷：株式会社 橋本確文堂

表題地模様©Toku Yusui(加賀友禅染絵『さやぐ、おどる』。由水十久(初代。1913 - 1988)は金沢出身の加賀友禅作家です。)